

内部質保証実務 (授業設計FDの活用編)

大学改革支援・学位授与機構 研究開発部
鳶田 敏行

- 今回は FD（ファカルティ・ディベロップメント）をテーマに選んだ。
- FDが効果的に行われていると言えない印象（やや個人的感想？）。
- 専門家不足、内製化の遅れ、足りないのは何？、知識、技能？
- 授業の内容及び方法の改善を図るためのFDを組織的に実施することは、
教学マネジメント指針だけでなく一般に認証評価の基準においても求められている。
- 「教育システムの質は教員の質を超えることはできない。」

Prof. Olusola Bandele, OYEWOLE（アフリカ大学協会事務局長）

INQAHEE2024 Session 1: Keynoteより

-
- 米国に於いては、1976年設立の高等教育における専門職および組織開発(POD)ネットワーク (The Professional and Organizational Development (POD) Network in Higher Education) が、「教育開発 (Educational Development) 」関連業務の専門職の全米組織として存在し、年次大会などの各種イベントを通して集約した情報の提供、共有を図っている。
 - 今回参加したのは、第49回年次大会 (POD Network 49th Annual Conference) で、シカゴ市において、令和6年11月11日 (月) から14日 (木) に開催された。
 - 報告者総数625名。セッション数305。

セッションのタイプ

4

Presentation type	回数	割合
Interactive	122	39.7
Research	46	15.0
Poster	42	13.7
Workshop-in-a-Box	22	7.2
POD Talk	20	6.5
Preconference Workshop	19	6.2
Perspectives	17	5.5
Birds of a Feather	16	5.2
nodata	1	0.3
Keynote	1	0.3
Anchor Session	1	0.3

主要トピック

5

Primary Session Topic	出現数
Development of Educational Developers	53
Diversity, Equity, Inclusion, & Justice	45
Teaching & Learning in Practice	42
Organizational Development	26
Research & Scholarship	26
Running a CTL	25
Graduate Student Professional Development	15
Online and/or Hybrid Teaching & Learning	9
Adjunct/Part-time Faculty Development	6
Assessment	6

出現頻度が高い語

6

- アブストラクト、タイトルに使われている単語の出現頻度

faculty	313
teaching	225
participants	217
session	216
development	184
learning	183
students	181
educational	165
relationships	152
support	111
strategies	110
student	95
developers	93
practices	91

2語

educational developers	79
educational development	59
higher education	52
professional development	47
interactive session	32
faculty development	31

報告者の所属

7

所属名称（1語）	度数
Teaching	368
Center	359
Learning	297
Excellence	113
Department	45
Faculty	43
Education	42
Office	42
Innovation	39
Development	37

所属名称（3語）	度数
Center Teaching Learning	122
Center Excellence Teaching	32
Excellence Teaching Learning	32
Teaching Learning Excellence	19
Center Teaching Excellence	17
Center Advancement Teaching	15
Center Teaching Learning	13

-
- 我が国においては、例えば米国に比べ、Educational Developerなど授業や教育改善のための専門職が各大学にあまり配置されていない、という事情もある → 「現状でもできること」があるのでは？
 - 組織的かつ継続的な教育改善において、授業改善（質の維持・向上）は不可欠 → ではどうやって？
 - 授業を改善するためには、もっと上のレベル（学位プログラム、カリキュラムレベル）の改善との連動が不可欠（CPやDP）。
 - FDの設計と運用には、様々な手法があるので、その大学に合ったものを参考に構築・運用していただくことが重要ではないか。

このセミナーで実施したいこと

9

- **講義編**：授業改善FDの実践モデルの解説だけでなく、「なぜ、FDが必要なのか」「何のためにどのようなコンテンツが必要なのか」というところを現場でのFDの実践事例なども踏まえ考えて行く。
- 対面の**演習編**：授業改善FDの実践モデルについて、参加者のみなさんの具体的な取り組みや課題を共有いただきつつ、より具体的に解決法やモデルの導入について考えていく。

FDマップの概要

10

大項目	中項目		科目レベル(授業全体)/ 授業レベル(1回の授業)
設計	「全体目標と カリキュラム (プロセス) の把握」	ディプロマ・ ポリシー (DP)	科目レベル
		カリキュラム・ ポリシー (CP)	科目レベル
	学修目標とその評価方法		科目レベル
	授業設計 (シラバス作成)		科目レベル・授業レベル
実施	学習指導法		授業レベル
	学修状況の把握		授業レベル
点検・評価	授業の見直し		科目レベル

<第1部（講義編：オンライン配信あり）>

13：05～13：20 趣旨説明とFD/SDをどのように考えるか

畠田 敏行（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

13：20～14：20 「FDルーブリックの策定の運用（試行）について」

岩野 摩耶（山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室 講師）

竹中 喜一（近畿大学 IR・教育支援センター 准教授）

タイムテーブル（質疑応答）

12

14：25～14：40 質疑応答（質問記入タイム14：20～14：25）

- 質疑応答につきましては、対面参加の方も含めオンラインで質問等を入力いただきます。
- 質問内容は画面上で共有し読み上げますので、個人名等が入らないようご注意ください。
- 質問が多かった場合には、先着順の回答となりますので、ご承知おきください。
- 最大延長14：50となります。

(参考) 演習編：対面のみ

13

14：50～15：45 演習1「具体的事例を踏まえた授業改善FD設計と運用」

15：45～15：55 休憩

15：55～16：35 演習2「授業改善FDの現状と課題から実践的改善を目指すには」

16：35～16：55 演習2：全体共有＋講師陣からのコメント

16：55～17：00 アンケート記入タイム